

「昨年、黒字?赤字?」

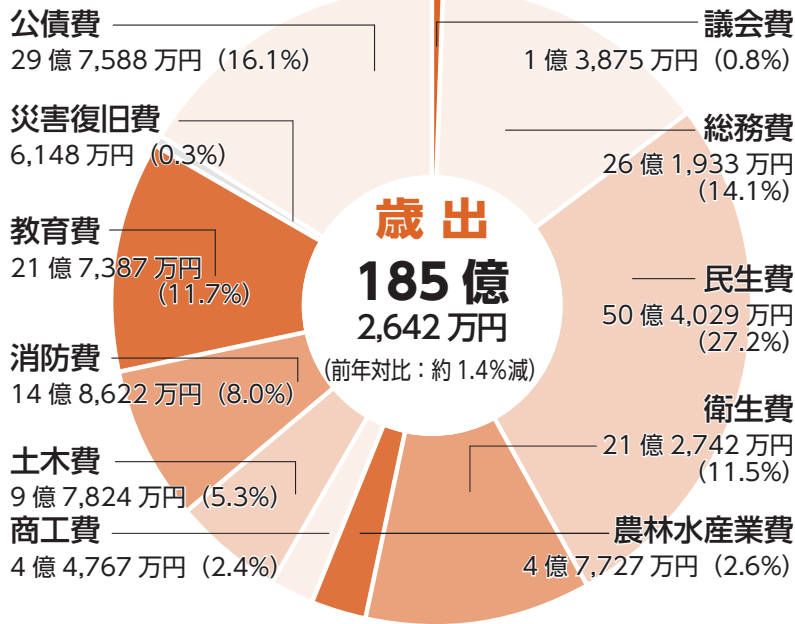
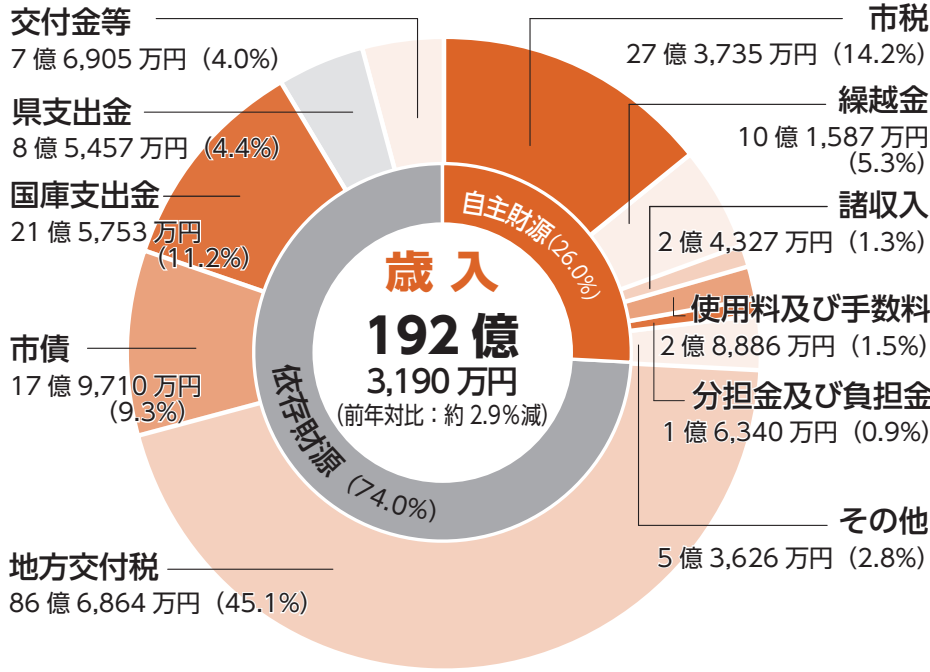


「平成28年度決算報告」

気になる宇陀市の財政

昨年の宇陀市の家計はどうなった?

問 財政課
 TEL 82・1305 / FAX 88・9071



※金額の記載は全て表示単位未満で端数処理しています

※ () 内は構成比

一般会計

歳入と歳出を差し引いた結果、7億548万円の黒字となり、次年度予算へ繰り越しました。

一般会計 歳入

毎年の市税の減少に加えて地方譲与税、交付金、普通交付税、市債発行も減少したことより、前年度決算額に比べて約2.9%の減となりました。しかし、繰入金が増えたこともあり、前年度と比べて自主財源の割合が4ポイント増え、依存財源の割合は74%となりました。

一般会計 歳出

榛原中学校・榛原西小学校耐震事業、市営住宅改修事業の実施、財政調整基金等への積立が増加したものの、室生小学校改築やプレミアム商品券発行事業費、公債費などの経費が減少し、前年度の決算額と比べて約1.4%の減となりました。

【歳入】

- ▶自主財源…市が自ら収納、徴収できる財源のこと
- ▶依存財源…国・県の基準により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする財源のこと
- ▶地方交付税…所得税等、国税の一部から地域にかかわらず、一定の行政サービスを提供できるように国から配分されるお金
- ▶国・県支出金…市が行う特定の事業に対し国や県が交付するお金
- ▶交付金等…地方消費税交付金、地方譲与税、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、配当交付金等
- ▶市債…事業等を行うために資金を外部から借りるお金

【歳出】

- ▶総務費…人事・企画・財政・課税徴収・住民窓口・選挙・統計事業等に使ったお金
- ▶民生費…高齢者、障がい者、児童福祉、生活保護など福祉事業に使ったお金
- ▶衛生費…予防接種や健診、病院、ごみ処理など健康増進や環境保全等に使ったお金
- ▶教育費…幼稚園や学校教育、文化財保存、生涯学習等の教育全般に使ったお金
- ▶公債費…市債(市の借金)を返済するために使ったお金

特別会計

特定の事業を行う場合、また特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理するために条例により設置している会計です。

住宅新築資金等貸付事業を除く会計は黒字でした。

また、簡易水道事業は、企業会計の水道事業会計と統合したため、平成28年度をもって廃止となります。

企業会計

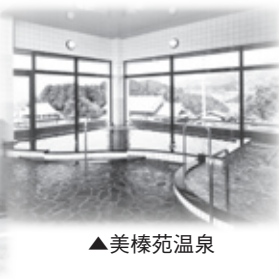
公営企業は、民間企業のように利用料金等を財源に、公共の利益を目的に経営する事業で、市では次の4つを公営企業として運営しています。

会計名	歳入	歳出	差引額
住宅新築資金等貸付事業	3,406万円	3億4,553万円	△3億1,147万円
霊苑事業	2,106万円	1,843万円	263万円
国民健康保険事業（事業勘定）	48億7,721万円	45億8,938万円	2億8,783万円
（診療施設勘定）	1億723万円	1億531万円	192万円
介護保険事業	39億4,059万円	38億1,682万円	1億2,377万円
簡易水道事業	8億6,000万円	8億2,355万円	3,645万円
下水道事業	8億6,506万円	8億5,963万円	543万円
土地取得事業	1億124万円	1億124万円	0円
後期高齢者医療事業	4億4,562万円	4億4,510万円	52万円
特別会計合計 （ ）は前年度決算額	112億5,207万円 (111億9,883万円)	111億499万円 (114億2,157万円)	1億4,708万円 (△2億2,274万円)

▼水道局外観



▲美榛苑温泉



▼病院まつり



▲さんとびあ榛原夏祭り

水道事業

平成28年度末において給水件数は5,740件、年間有収水量は1,421,760m³でした。昨年度に引き続き、榛原地域の水道未普及地域解消事業として玉立・赤瀬地区への送配水管工事を行っています。

収支差引は、4,056万円の黒字決算となりました。

収益 5億9,378万円		費用 5億5,322万円	
営業収益	3億5,036万円	営業費用	5億1,722万円
給水収益	3億4,827万円	給与費	1億3,310万円
その他	209万円	県水受水費	8,197万円
営業外収益	2億4,342万円	減価償却費	2億1,166万円
特別利益	0円	その他	9,049万円
		営業外費用	3,598万円
		特別損失	2万円

美榛苑事業

平成22年10月1日より指定管理者による経営に移行し、平成28年度中も指定管理による経営となりました。

収支差引は指定管理者からの納付金と一般会計からの補助金を受け、1億4,423万円の黒字決算となり、一時借入金の返済に充当しました。

収益 1億8,293万円		費用 3,870万円	
営業外収益	1億8,293万円	営業費用	3,693万円
一般会計補助金	1億6,110万円	減価償却費	3,693万円
指定管理者納付金	2,000万円	営業外費用	177万円
雑収益	183万円	支払利息等	123万円
		雑支出	54万円

市立病院事業

平成28年度の入院患者数は、延べ47,005人（1日平均129人）、外来患者数は、延べ92,222人（1日平均380人）でした。

また、収支差引は、4,770万円の純損失となりました。

収益 33億7,322万円		費用 34億2,092万円	
医業収益	28億8,995万円	医業費用	32億9,018万円
入院収益	18億2,219万円	給与費	20億930万円
外来収益	9億1,856万円	材料費	4億7,266万円
その他	1億4,920万円	経費	4億5,091万円
医業外収益	4億8,327万円	減価償却費	3億4,810万円
特別利益	0円	資産減耗費	107万円
		研究研修費等	814万円
		医業外費用	1億3,074万円
		特別損失	0円

介護保健施設事業

平成28年度の入所者数（短期入所者を含む）は延べ32,205人（1日平均88.2人）、通所者数は延べ3,647人（1日平均15.0人）となりました。

また、収支差引は1,198万円の純損失となりました。

収益 4億7,813万円		費用 4億9,011万円	
事業収益	4億5,767万円	事業費用	4億6,992万円
介護報酬収益	3億9,114万円	給与費	3億3,039万円
施設利用料収益	6,604万円	材料費	3,698万円
その他	49万円	経費等	7,854万円
事業外収益	2,046万円	減価償却費	2,401万円
特別利益	0円	事業外費用	2,019万円
		特別損失	0円

宇陀市の家計の状況は？

宇陀市の財政状況



収支では、経常的な収入（例えば、給料）で経常的な支出（例えば、生活費）がまかなえているか？【Ⅱ経常収支比率・財政力指数】、会計が赤字になっていないか？【Ⅰ実質赤字比率・連結実質赤字比率】、借入（例えば、毎年のローン返済や残高が多すぎないか？）【Ⅱ実質公債費比率・将来負担比率】など様々な指標から見ること、家計と同じく収支（資金繰り）と借入の視点から、市の財政状況がわかります。

経常収支比率

▼財政にゆとりがあり、様々な状況に柔軟に対応できるか？

H28年度 97.6%
(H27年度類似団体平均 88.9%)

市税、普通交付税などの経常的な収入のうち、人件費や公債費、扶助費などの行政サービスを維持するために必要な経費へ充てた割合。

この比率が高くなるほど、**投資的事業（道路や公共施設の整備など）に充てるお金が不足し、財政にゆとりがなくなり**ます。

財政力指数

▼自主的な収入だけで、どれだけ賄えるか？

H28年度 0.30
(H27年度類似団体平均 0.39)

市の人口や面積、税金などに応じ、国が定めた方法で計算した、その市の基準的な収入と支出のバランスを表した財政の体力を示す指標です。

数字が大きいほど**財源にゆとりがあり、1に近いと自主財源で運営できていること**になります。

財政調整基金対標準財政規模比率

▼急な事態等に備える基金（貯金）はあるか？

H28年度 21.0%
(一般に 10%程度が望ましい)

予期しない収入減や不時の支出増加に備える財政調整基金の残高が市の**標準的な財政規模**（標準的な一般財源の収入額）に対してどの程度の比率を保有しているかを示す割合です。

平成28年度は、収入では、市税、地方譲与税、交付金や普通交付税等が減少しました。支出においても、人件費や公債費が減少したものの、収入の減に比べて支出の減少が少なかったため昨年度に比べて2.5ポイント増加しました。

宇陀市の市債（借金）残高はどれくらい？

合計 387 億 6,274 万円

前年度より
約16億円減少!

主な内訳

- ▶一般会計……255 億 9,904 万円
- ▶簡易水道事業… 29 億 7,490 万円
- ▶下水道事業…… 48 億 7,110 万円
- ▶水道事業……… 9 億 7,133 万円
- ▶市立病院事業… 31 億 4,797 万円
- ▶介護老人保健施設事業……… 6 億 5,272 万円

市では、ここ数年、ほぼ横ばいで推移しています。



標準財政規模とは、市が標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模のこと

平成28年度は、財政規模が縮小されましたが、基金残高が増えたため、前年度に比べて1.5ポイント増加しました。

財政健全化比率

「早期健全化基準（イエローカード）」、「財政再生基準（レッドカード）」の数値を超えた場合は、財政上の制約を受けたり、健全化計画を策定し、実行する必要があります。

種類	指標名	指標の概要	平成 28 年度の宇陀市の決算数値	
			※宇陀市における早期健全化基準（イエローカード）・財政再生基準（レッドカード）	
健全化判断比率	実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計、特別会計（住宅新築資金等貸付事業・霊苑事業・土地取得事業）の 赤字額の比率	▲ 3.16%【黒字】（黒字額は、対前年度比 2.19 ポイント減少）	※（イエローカード）13.10%、（レッドカード）20.0%
	連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計（一般会計・特別会計・企業会計）の 赤字額の比率	▲ 22.84%【黒字】（黒字額は、対前年度比 3.41 ポイント改善）	※（イエローカード）18.10%、（レッドカード）30.0%
	実質公債費比率	標準財政規模に対する当該年度の借入金（借金）の返済額等の比率で3か年平均	15.5%で健全化基準をクリア。（対前年度比 1.2 ポイント改善）	※（イエローカード）25.0%、（レッドカード）35.0%
	将来負担比率	標準財政規模に対する負担すべき将来の債務（全会計・一部事務組合の負担義務のある残債、土地開発公社の債務保証、負担義務のある職員退職金等）の比率	136.9%で健全化基準をクリア。（対前年度比 6.3 ポイント改善）	※（イエローカード）350.0%
公営企業	資金不足比率	各会計における事業の規模に対する資金の不足額の比率	■保養センター事業（美榛苑）会計 94.2% ※（イエローカード）20.0% 当事業は経営健全化計画を策定して以降、一部計画の変更を経て、経営改善に取り組んできました。その結果、 前年度より 66.4 ポイント改善 し、概ね計画通りとなっています。今後も経営健全化に努めます。 ■その他の簡易水道事業、下水道事業、市立病院事業、介護老人保健施設事業、水道事業会計については、資金不足は生じていません。	

特集

市政トピックス

うだぢから

まちのわだい

みんなで子育て

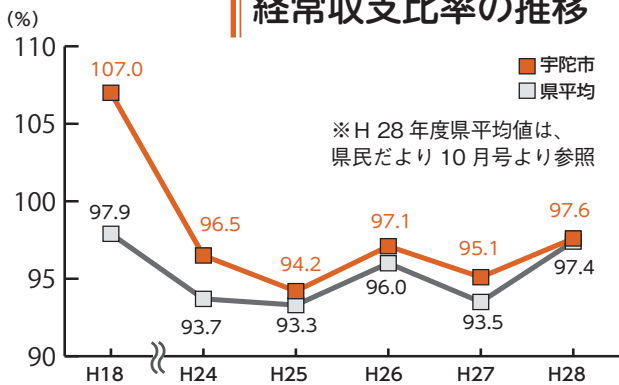
病院・ウェルネス

お知らせ

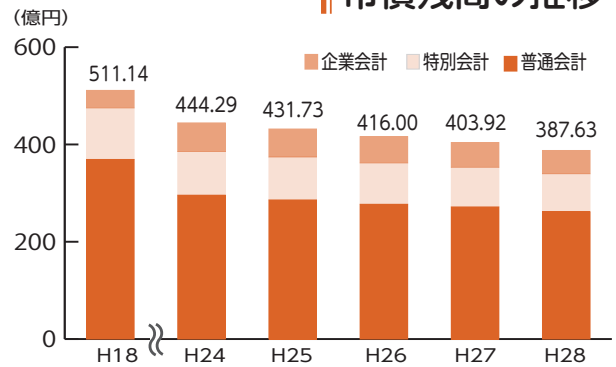
掲示板

うだちゃん

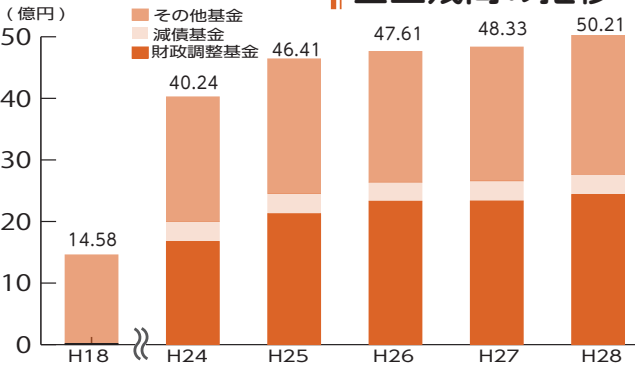
経常収支比率の推移



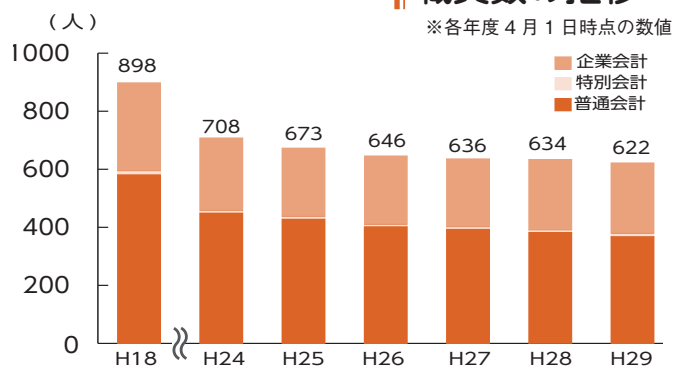
市債残高の推移



基金残高の推移



職員数の推移



決算額 **3億2,802万円**

生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には避難所としての役割を果たす学校校舎の耐震化等工事を行いました。<写真：榎原中学校>

榎原中学校校舎耐震補強等事業

決算額 **7,636万円**



車で城跡付近まで登れるアクセス道路を整備しています。※工事が完了するまでは城跡整備事業の作業用道路です。<写真：整備中の登城道入口>

国指定史跡宇陀松山城跡の登城道整備事業

28年度の主な事業

主にこんな事業に取り組んだよ



便利な田舎 ~宇陀のレシビ事業~

決算額 **947万円**

「出産祝い金支給事業・こんにちは赤ちゃん訪問事業・ぴかぴか1年生応援事業・トリアルレシビ事業」などにより、結婚・出産・子育てを支援。



小さな拠点の形成によるまちづくりプロジェクト事業

決算額 **5,255万円**

奈良県と締結したまちづくりに関する包括協定に定めた市内4か所の拠点について、基本構想に基づき事業計画等を策定。



薬草プロジェクト事業

決算額 **1,746万円**

薬草栽培の拡大を進め、生産者の所得向上のための販路体制の構築や6次産業化を推進し、薬草の発祥の地から全国へ薬草の魅力を発信。



アントレプレナー（起業家）育成循環事業

決算額 **196万円**

奈良県、宇陀市、ロート製菓（株）による「大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定」に基づき、市の地域資源を活用した食と農を中心とするプロジェクトを立ち上げ、起業家を公募。



地方創生事業

決算額 **2億1,273万円**

地方創生事業とは
地域資源を最大限に活用しながら産業振興・雇用創出・観光交流などの拡大に努め、地域の活性化や魅力あるまちづくりのための取り組みです。今後、人口減少をはじめ、地域の課題解決に向け、積極的に推進します。

あなたの夢を叶える第一歩

創業セミナーを開催

市内で新しく創業を考えている方、事業の継続や更なる成長を考えている方など、新たな事業展開を目指す方のためのセミナーを開催します。

【場所】宇陀商工会館(榛原萩原)
【テーマ】創業チャンスの見つけ方
第1回 創業チャンスの見つけ方
(経営・販路開拓)

第2回 創業に向けたプラン作り
(経営・人材育成・財務)

はじめ、セミナー終了後や創業後も商工会の支援や個別相談もあります。ぜひご参加ください。

【講師】石川 聖子氏
(中小企業診断士)

【日時】第1回 11月25日(土)
第2回 12月2日(土)

【参加費】無料
【定員】15名(先着順)

【主催】宇陀商工会

【共催】宇陀市・曾爾村

両日とも午後1時30分～5時30分

【申し込み】電話かFAX、郵送にて問へ

※申し込み書は、宇陀商工会、市役所産業企画課窓口、または商工会、市役所のホームページからダウンロード

問 宇陀商工会

(☎82・2211/FAX82・6547)
〒633・0253

宇陀市榛原萩原160・1

問 産業企画課

(☎82・5874/IP☎88・9075)
/FAX82・8211)

第2次宇陀市総合計画策定

キックオフシンポジウムを開催



▲グループワークのイメージ

市では、現状の総合計画が今年度をもって終了することから、平成30年度からの市政運営の指針となる「第2次宇陀市総合計画」の策定に向け取り組んでいるところです。

計画策定にあたり、宇陀市の将来像について考える『キックオフシンポジウム』を開催します。シンポジウムでは、市民のみなさんと市職員がともに話し合い、考えた内容を計画に反映します。

「宇陀市をこんなまちにしたい」「宇陀市でこんな取組があったらいいな」といった宇陀市がこれから進むべき方向性を定める第2次宇陀市総合計画策定シンポジウムに是非ご参加ください。

【日時】11月19日(日)午後2時～4時(予定)

【場所】宇陀市役所会議室 【定員】70人(先着順)

【対象】市内在住、在勤、在学の方

【申し込み】11月14日(火)までに、電話かFAX、メールにて、住所、氏名、年齢、電話番号を問へ

問 企画課

(☎82・1362/IP☎88・9074/FAX82・3900)

メール:kikaku@city.uda.lg.jp

市長日記

元気なまちづくりを目指して



悠久の歴史の中で脈々と続けられてきた各地の秋祭り。次代に継承してもらいたいと思っています

▼10月11日に開催された市社会福祉大会。昨年は台風のため残念ながら中止となりましたが、今年は多くの方の参加のもと、社会福祉にご尽力いただいた方々の表彰を行うことができました。

今年、米寿を迎えられる方253人、百歳を迎えられる方13人、百歳以上が34人となる本市です。元気なまちになっても、構想に取り組んでいます。その中で高齢者には、トータル福祉の向上、即ち、生涯現役、生涯健康、生涯楽しく働くということをもっとにそれぞれがんばって欲しいと願っています。

▼衆議院解散に伴う総選挙が行われました。各政党の政策や候補者の想いを聞かせていただきましたが、いずれも「東京に視点を置いた政策」と思えてなりません。奈良県小選挙区も変わりました。本市を含む3区は県の大部分を占める選挙区であり、今後、地域の課題、市民の声が、少しずつ届きにくくなるのではと懸念しています。

国政には、社会福祉を含め財政的な持続できる仕組みとともに

に、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の持続的な支援をいただきたいと考えています。

▼グローバル化した経済社会情勢を踏まえ、地域独自のまちづくりが求められています。制度設計、政策誘導などを行い、東京一極集中を改善し、地方を元気にする必要があります。

市では、合併に伴う行財政改革、行政課題を克服して、宇陀市版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を進め、地方の活力が日本を支える、宇陀市で社会福祉を支えるしごとづくりに積極的に取り組んでいます。

▼現在進行中の休暇村協会による宿泊施設誘致事業は、新たな地域づくりになると確信しています。そして、その効果を市内各地域に波及できること、「まち・ひと・しごと創生」が実現できることを目指しています。

宇陀市のようにがんばる地方をぜひ応援して欲しい、支援をお願いしたいと今後も要望し続ける所存です。これからも一緒に元気な宇陀市を目指しましょう。

公共交通の維持のためコミュニティバスを運行

奥宇陀わくわくバス・貨客混載社会実験で出発！

企画課 ☎82・1362 / IP ☎88・9074



▲運用主体となる宇陀地域公共交通活性化協議会は、宇陀市・曾爾村・御杖村で構成

奥宇陀線は、従来の奈良交通路線バスから宇陀市、曾爾村、御杖村が中心となり組織する宇陀地域公共交通活性化協議会に運営を変更し、コミュニティバスとして再スタートしました。

「奥宇陀わくわくバス」には、沿線地域のみなさんのふれあいの場として、また観光客の方には、奥宇陀地域の多くの観光資源を訪れてワクワクしてもらいたいという願いが込められています。ぜひみなさん、ご乗車ください。

またコミュニティバスに移行するとともに、新たな取り組みとして、貨客混載の社会実験を実施します。貨客混載とは、バスの空席を利用し、荷物を輸送するという試みで、奥宇陀線の確保・維持のために提案されたものです。奥宇陀線を運行するための施策として期待しており、ヤマト運輸(株)・奈良交通(株)と協力し、今後の本格運用を目指します。



▲貨客混載の取り組みは県内初



▲榛原西小



▶大宇陀小

小学生を対象に「バス教室」開催！

市では以前から、奈良交通(株)協力のもと、環境にやさしい公共交通であるバス利用の大切さを考えていただくことを目的に「バス教室」を行っています。

9月28日には大宇陀小、10月5日には榛原西小のそれぞれ3年生を対象に教室を開催。バスの仕組みや乗り方や乗車時のマナーなどを学んでいただきました。



Kirari UDA-Bito

薬草逍遙

(薬草栽培の6次産業化を目指して)
地域おこし協力隊 中島智弘さん(榛原秋原)



着がわいてきましたね。当時、本当に採用されるとは想像していませんでしたが、森野旧薬園をはじめ何度も宇陀市に訪れました。

宇 陀市へ来て1年半。地域おこし協力隊の任期は3年なので、ちょうど半分が経過しました。もともとは東京でweb関係の仕事をしていたのですが、当時、体調を崩した時期があって、何度通院しても改善しなかった時、漢方に出会って、その効能と効果を体感しました。ちょうどこの頃、環境問題など都会で将来住み続けることに不安を覚えていた私は、漢方を通じて薬草栽培のことに興味を持ち初めていたこともあり、偶然ネットで宇陀市での協力隊の募集を見かけ応募することになりました。

今 は、仕事で大和当帰の畑を回ったり、トウキ葉の活用など、様々な形で薬草を活用したビジネスモデルを考えています。また夫婦二人で農地を借りて、サツマイモ(紅はるか)を植えたりして、日々農業の楽しさとやりがいを感じています。

薬 草栽培をはじめ日本の農業には、生産だけでなく、新たなものへの加工や観光、教育など、いろんな面で多くの可能性があります。もちろんこの任期が終わってからも、宇陀に住み続けますよ。これからも、自然や歴史、人に恵まれた宇陀の地で農業と向き合っていきたいです。

以 前は、宇陀市の名前すら知らない私でしたが、豊かな自然環境に加え「日本最初の薬畑の地」「薬の発祥の地」「飛鳥時代から続く薬草のまち」としての宇陀市の価値を知ってから、一気に興味と愛



▲茶畑の畝間で大和当帰の育苗を試みている



特集

市政トピックス

うだちから

まちのわだい

みんなで子育て

病院・ウェルネス

お知らせ

掲示板

うだちゃん